

2023年9月21日

報道関係各位

株式会社南紀白浜エアポート
株式会社 HLM

「旅立つ空港図書館」の実現に向けて覚書を締結 ～空港の搭乗待合室を図書館に～

株式会社南紀白浜エアポート（和歌山県白浜町）及び株式会社 HLM（大阪府大阪市）は、南紀白浜空港新ターミナルビル内の搭乗待合室を、航空便が運航していない期間に図書館（通称：「旅立つ空港図書館」）。コンセプト等は次頁参照）として活用検討する覚書を締結しました。

飛行機をご利用されるお客様のみならず、周辺地域にお住まいの方々がより南紀白浜空港に慣れ親しんでいただくことを目的に、デザイン事業、選書事業等を手掛ける HLM 社が厳選する書籍をレイアウト（下記写真参照）します。

お子様から大人まで、幅広い年齢層に向けて新たな本との出会いの場を提供し、選書された書籍を通じて読書の楽しさと冒険を体感いただきます。

更には、空港図書館を定期的に一般開放するとともに、イベント開催や商品・アート作品の特別展示、会議室利用等、さまざまな活用方法を両社で検討して参ります。空港という特別な場所で本を楽しみ、イベントを通して様々なコンテンツに触れられるコミュニティスペースの実現を目指します。



館内全景



レイアウトの様子



旅立つ 空港図書館

Nanki-Shirahama Airport Library

“空港から 夢・未来・地元 へ旅立つ”

をコンセプトに、空港という非日常空間で

新しい発見ができる本を取り揃えます



たくさんの本があるからこそ

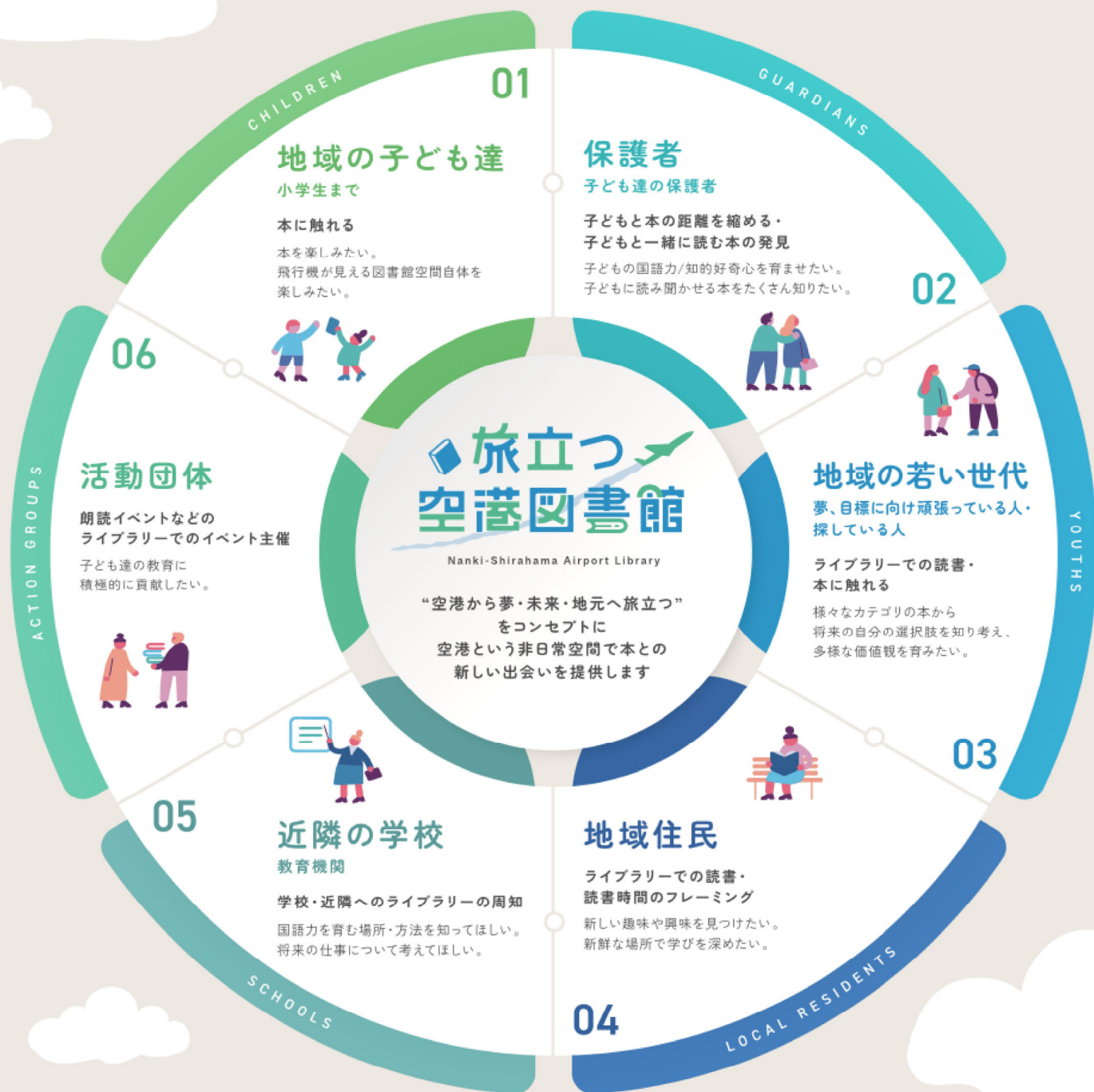
本と人との出会いはもっと多様であって良い

「どんな本とどうやって出会えるか？」

そこから、本という旅は始まっているのです



「旅立つ空港図書館」の役割



「旅立つ空港図書館」を作った人



選書家 畑崎 祥子 @chocolat_bd

1991年和歌山県みなべ町出身。関西学院大学法学部卒業後、広告会社でディレクターとして7年間、企業の広報戦略・デザイン企画に携わる。
HLMでは、選書事業においてライブラリー制作を行う。施設の方向性をヒアリングし、コンセプトを体現する本を選ぶことが仕事。幼少期からの本好きで、広告営業企画で培ったディレクション能力を活かし、選書事業を立ち上げた。実績として、京都の町屋をリニューアルしたライブラリースペース、神戸の福祉施設が運営する親子カフェの本棚などがある。
白浜空港は幼い頃から飛行機を見に家族でよく訪れており、以来思い入れのある場所となっている。
HLMデザイン事業のプロジェクトディレクターも兼任しており、商品PR、医療・福祉業界の法人・採用VIを中心に、数十社の多様なカテゴリのブランディングなど担当している。



<本件に関するお問い合わせ先>

南紀白浜エアポート 担当：正慶、池田
電話：(0739)43-0095／Mail：info@nsap.co.jp

株式会社 HLM（ホルム）担当：畑崎
電話：06-6626-9207／Mail：hatazaki@hlm-inc.co.jp